※令和３年度以前入学生用

学校番号	T3010D

令和５年度　デザイン科

教科	工業	科目	デザイン実習	単位数	４単位	年次	４年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

造形展開の考え方やデザインに関する様々な知識や表現方法を学びます。手作業と PC 作業を連係して制作を行うなど、現代社会において必須のデザイン技術を身につけることが目標です。相手がデザインに求めているものが何かを見極め、完成までの行程を計画的に取り組むことが求められます。

2　学習の到達目標

デザインが持つ社会的な意義や役割について人と技術のかかわりを踏まえて理解し、関連する技術を身につけるようにします。また自ら課題を発見し科学的な根拠に基づくデザインによって解決する力を培い、広い視野を持つことを目指して自ら学び、主体的かつ協働的にデザイン技術の向上に取り組む態度を養うことを目標とします。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	デザインの目的・意義や役割について興味・関心を持ち、実際のデザインワークを通して技術の習得に積極的に取り組む、創造的・実践的な態度を身に付けている。	デザインの目的・意義や役割について広い視野から自ら考え、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し，創意工夫する能力を身に付けている。	デザインに関する基礎的・基本的な技術を身に付け，他者に配慮し，実際のデザインワークを合理的に計画し，その成果を的確に表現する。	デザインに関する基礎的・基本的な知識を身に付け，現代社会におけるデザインの目的・意義や役割を理解している。
評価方法	学習状況の観察 提出物 製作品 自己評価等	学習状況の観察 提出物 製作品 自己評価等	学習状況の観察 提出物 製作品 自己評価等	学習状況の観察 提出物 製作品 自己評価等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	コンクール出品	・複数のコンクールから１つ以上を選び、作品を制作	○	○	○	○	a:コンクールの趣旨について興味・関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b:表現方法の違いが人に与える影響を理解し、創意工夫をして目的に応じた表現をすることができている。 c:基礎的・基本的なデザイン技術を身に付け，必要とされている表現を的確に行うことができている。 d:デザインの基礎的・基本的な知識を身に付けその目的・意義や役割を理解している。	学習状況の観察 制作物　　等
2	自己表現	・自分の作品展を企画 ・ポスター制作	○	○	○	○	a:デザインの目的・意義や役割について興味・関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b:表現方法の違いが人に与える影響を理解し、創意工夫をして目的に応じた表現をすることができている。 c:基礎的・基本的なデザイン技術を身に付け，必要とされている表現を的確に行うことができている。 d:デザインの基礎的・基本的な知識を身に付けその目的・意義や役割を理解している。	学習状況の観察 ワークシート 制作物　　等

※令和３年度以前入学生用

3	自己表現	・イラストレーション	○	○	○	○	a:デザインの目的・意義や役割について興味・関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b:表現方法の違いが人に与える影響を理解し、創意工夫をして目的に応じた表現をすることができている。 c:基礎的・基本的なデザイン技術を身に付け，必要とされている表現を的確に行うことができている。 d:デザインの基礎的・基本的な知識を身に付けその目的・意義や役割を理解している。	学習状況の観察 ワークシート 制作物　　等

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。